

# 地域医療連携だより

2018.12  
第44号



**兵庫医科大学病院**

〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号  
TEL.0798-45-6111(大代表)  
<https://www.hosp.hyo-med.ac.jp>



## 医療支援センターの点と線と面

医療支援センター センター長 芳川 浩 男



兵庫医科大学病院1号館1階に2017年4月、医療支援センターを開設し、従来の「地域医療・総合相談センター」「入院退院管理室」「医療社会福祉部」が一体となり、患者さんの外来受診、入院支援、退院（転院）調整、在宅ケア対応に当たっています。その業務遂行に当たって重要なことは、病院内の他部署や地域の関連病院や施設との連携です。連携が機能して初めて「医療支援センター」という「点」から「線」に繋がります。さらに「線」が繋がった上で、その上に「面」が形成できれば、患者さんのセーフティネットとして機能します。

医療支援センターには日々様々なご意見・苦情の声を頂戴しております。それら一つ一つに真摯に向き合い解決していくには、いわゆる窓口対応だけでは不十分であり、上記の「線」を使って、各診療科医師・看護部・地域医療課・ソーシャルワーカー・事務職員・医療安全管理部に繋ぐことが大切です。「カイゼン」にはPDCAサイクルが機能することが前提であり、そのためには職員のモチベーションアップにも配慮する必要があります。

第4次産業革命と言われる、テクノロジーの進歩は医療の現場にも浸透してきています。ロボット支援手術はその応用範囲が拡大し、AIを使った診断技術の向上やIoTを用いた健康情報管理は、実現可能な状況にあります。しかし、技術が先行して、人が疎かになっては主客転倒です。

兵庫医科大学病院は人にやさしい医療を目指しています。医療支援センターを通じて、地域の先生方と病診・病病連携のさらなる強化を図り、患者さんへのサービス向上に努めてまいります。ご指導・ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

## 診療部長就任のご挨拶

心臓血管外科 診療部長 坂口 太一



2018年10月1日付で心臓血管外科主任教授を拝命しましたので、ご挨拶申し上げます。

私は平成4年に大阪大学を卒業し、これまで米国コロンビア大学、大阪大学、心臓病センター榊原病院（岡山）にて成人心臓手術、特に重症心不全手術と低侵襲心臓手術を中心に診療を行って来ました。

かつては大侵襲外科の代名詞であった心臓血管外科ですが、近年低侵襲化が進んでいます。大動脈瘤に対するステントグラフト手術、大動脈弁狭窄症に対する経カテーテル大動脈弁置換術（TAVI）は、高齢者に対する外科治療の第一選択として当院でも積極的に行っており、良好な成績を上げています。さらに私の専門領域である胸骨正中切開を行わない肋間小開胸手術（MICS：Minimally Invasive Cardiac Surgery）は創が目立たないだけでなく、車の運転や上半身の運動制限もなく早期の社会復帰が可能です。阪神地区ではMICSを積極的に行っている施設は少ないのですが、私はこれまでの500例以上の経験から、弁膜症のみならず冠動脈バイパス手術にもMICSを広く行っています。安全確実のみならず美容面や術後のQOLにも配慮した外科治療を進めていきますので、今後ともよろしく願いいたします。



図：20代女性。感染性心内膜炎に対するMICS僧帽弁形成術後

## 「乳がんの遺伝子検査」 — いよいよ到来したプレジジョンメディシン —

乳腺・内分泌外科 診療部長 三好 康雄



近年“プレジジョンメディシン”が、臨床の場にも導入されています。これは、個々の患者様に最適な医療を提供するために実施される検査であり、遺伝子を調べることで有効な治療薬の選択が可能となります。

乳がんにはBRCA1、BRCA2という遺伝子の変異によって乳がんや卵巣がんを発症する場合があります、遺伝性乳がん・卵巣がん症候群（HBOC）と呼ばれます。先日オラパリブという分子標的薬が承認されましたが、これはBRCA1、BRCA2に変異のある再発乳がんにも有効な薬剤です。

このように、遺伝子検査をして薬剤の適応を決めるプレジジョンメディシンが実施されています。また、特定の遺伝子変異を標的とした薬剤が開発されていますが、その薬剤を選択するにはそれぞれの遺伝子に変異があるかどうかを調べる必要があります。そこで、多くの遺伝子の変異を同時に調べるために導入されたのが、遺伝子パネル検査です。兵庫医科大学病院ではこの検査の実施が可能です。現時点では保険適応はありませんが、今後保険での検査が可能となる予定です。

こういったゲノム医療の実践にも取り組んでいますので、何かございましたらいつでもご相談ください。今後ともよろしく願いいたします。

## 糖尿病・高度肥満症を対象とした「減量手術外来」を開設しました

上部消化管外科 診療部長 篠原 尚



日本人の肥満者割合は年々増加傾向にあり、最近の調査によれば、BMIが25以上の人口は2,400万人、35以上の高度肥満は60万人と報告されています。肥満はさまざまな健康障害を引き起こしますが、なかでも2型糖尿病の合併率は40%以上と高く大きな社会問題となっています。高度肥満を伴う糖尿病は内服薬やインスリン注射では改善しにくいことから、近年、「腹腔鏡下スリーブ状胃



切除術」による外科的治療が注目されています。この手術によって胃の容量が小さくなり、食事摂取が制限されるので結果的に体重が減少します。また、食欲増進ホルモンであるグレリンの分泌低下や、インクレチン分泌亢進による糖尿病改善効果も得られます。現在、BMI > 35かつ糖尿病、高血圧症、脂質異常症、睡眠時無呼吸症候群のうち1つ以上を合併し、6か月以上の内科的治療が無効な患者さんに対して保険診療が認められています。兵庫医科大学病院では2018年10月に専門外来を開設しました。手術はあくまでもきっかけ作りであり、患者さんの“減量したい”という意思が大切ですが、当院では外科医、内科医、精神科医、看護師、管理栄養士からなるチームを結成して万全の態勢で診療にあたっています。対象となる患者さんがいらっしゃいましたら是非ご相談ください。

減量手術外来（高度肥満症）：毎週木曜日午後 担当：倉橋康典講師

URL：<https://www.hyo-med.ac.jp/department/gi-surgery/sleeve.html>

## 専門外来「がん緩和漢方外来」を開設しました

ペインクリニック部 棚田 大輔



兵庫医科大学病院においては最先端の西洋医学に基づく疼痛治療、癌診療が行われています。その中で、西洋医学のみでは十分な症状緩和が得られない方も見受けられます。その際に漢方薬を併用することで症状の改善が認められる方もいらっしゃいます。そのような方を対象として2018年10月にがん緩和漢方外来を開設しました。ペインクリニック専門医として西洋医学的な専門治療の知識と経験を持ち、さらに漢方専門医として東洋医学的な知識と診療経験を併せ持つ医師により西洋医学と東洋医学の得意分野を生かした統合医療を提供します。

対象の方がいらっしゃいましたらご紹介いただけますと幸いです。

対象：西洋薬のみで十分に症状が改善しない癌または癌治療に伴う痛み・痺れ・倦怠感・呼吸困難感等の身体症状がある方で漢方治療の併用を希望される方

初診外来担当曜日 水曜日午前（初診受付10：00まで）

外来担当医師

兵庫医科大病院緩和ケアセンター副センター長 棚田大輔

認定資格等：東洋医学会 漢方専門医

緩和医療学会 緩和医療専門医

ペインクリニック学会 ペインクリニック専門医

麻酔科学会 麻酔科指導医・専門医

## 開催報告：第4回市民健康フォーラム

地域の皆さんが病気について正しく学び、予防や健康の維持に役立てられるように2018年9月1日、宝塚市立文化施設ソリオホールにて「第4回兵庫医科大学病院 市民健康フォーラム」を開催しました。

今回のテーマは「泌尿器科のがん治療最前線」として、泌尿器科の3名の医師が腎がん、膀胱がん、前立腺がんについて講演を行いました。当日は、宝塚市、西宮市に在住の皆様を中心に、237名の方が聴講に訪れました。



アンケート結果では、参加者の満足度が高く、75%以上の参加者が満足と回答しました。感想のコメントでも、講演内容がとてもわかりやすいと好評でした。また、「兵庫医科大学病院の取り組みがよく分かった」等のコメントもいただき、当院の取り組みへの理解を深めていただいた結果となりました。

こうした声を受け、兵庫医科大学病院では、地域住民の皆様のお役に立てるよう、今後も「市民健康フォーラム」を開催する予定です。

### 兵庫医科大学病院からのお知らせ

## 2019年大型連休(GW)の診療体制について

皇太子さまの新天皇即位日となる2019年5月1日(水)が1年限りの祝日となり、祝日法により4月30日(火)と5月2日(木)も休日となる方針が政府より表明されておりますが、当院は患者診療への影響を考慮し、**4月30日(火)と5月2日(木)は開院**して平常どおりの診療を行いますので、お知らせいたします。

2019年4月30日(火) …… **開院** (平日の診療体制)  
 2019年5月1日(水) …… 休診 (休日の診療体制)  
 2019年5月2日(木) …… **開院** (平日の診療体制)

## 救急ホットライン

医療関係者専用の各科医師への直通電話です。24時間365日、交換手を通さず、各科医師に直接かかります。緊急症例、診療のご相談など何でもお気軽にお電話ください。

☎ 全ての重症疾患もしくは受け入れ先に迷ったら・・・

**0798-45-6812**(救急科医師)

循環器疾患と思ったら

**080-2475-7380**(循環器内科・冠疾患内科医師)

脳疾患と思ったら

**080-2529-8239**(脳神経外科医師)

画像転送用アドレス：hyougo.nougeka@gmail.com